

大学・高専機能強化支援事業（支援 1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

運営年度	令和5年度	学校コード	F102310100630	設置等組織名	先端基礎工学部 先端基礎工学科、総合情報工学部 総合情報工学科、デザイン工学部 建築・感性デザイン学科
大学名	江戸工業大学	設置区分	私立	事業計画名	成長分野への転換に向けた学科学習設計
学号	大学	都道府県	青森県		

1. フェーズ別の計画及び取組状況

フェーズ別の事業計画と取組状況、年度別の自己評価を記載してください。
フェーズ別の事業計画と取組状況、年度別の自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組がある場合は「取組状況」に取組を赤字で記載してください。また、計画変更申請をした場合は「取組状況」に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗が遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
			年度自己評価	対応
フェーズ1 準備期	1-①令和5年11月 学部学科構成・学部学科名称等の最終決定 1-②令和5年11月 各学科の育成すべき人材像と3ポリシーの決定 1-③令和5年12月 デジタル分野の人材育成に関する産官学連携組織の構築 1-④令和6年1月 キャンパス内建築調査 1-⑤令和6年1月 八戸市・八戸商工会議所との中心街キャンパス移転に関する検討会設置 1-⑥令和6年1月 八戸市産官学連携推進会議での構想の説明と意見交換 1-⑦令和6年4月 キャンパスの計画・設計 1-⑧令和6年11月 入学選抜方法の基本設計の検討 1-⑨令和7年2月 JAMSTECやQSTなど連携教育について協議 1-⑩令和7年2月 カリキュラム基本設計 1-⑪令和7年3月 カリキュラム詳細設計・確定 1-⑫令和7年3月 入学選抜方法の詳細設計・決定 1-⑬令和7年3月 文科省事前相談 令和5年～7年度のフェーズ1 期間に以下の学生確保の取組を実施 令和5年10月～現在 STEAM教育や文理融合がキーワードの研究・導入 令和5年9月～現在 HITリクシLABOの活性化 令和6年4月～現在 留学生獲得の検討 令和6年9月～現在 遠征教育課程の導入検討 令和7年3月 履修証明プログラムの拡充	1-①令和5年9月 改組に係る採算計画委員会発足 1-②令和5年10月 各検討事項に関する部会の発足 1-③令和5年11月 改組後の学部数を2学部に変更を検討 1-④令和6年1月 中心街キャンパス整備に向け協議を実施 1-⑤令和6年1月 キャンパス内建築調査 1-⑥令和6年4月 キャンパス構想の作成 1-⑦令和6年7月 学科名称等の最終決定 1-⑧令和6年11月 改組後の学部数を3学部に変更を検討 1-⑨令和6年11月 入学選抜方法の基本設計の検討 1-⑩令和7年2月 大学・学部等名称のイメージアンケートを高校生・在学生を対象に実施 1-⑪令和7年2月 各学科の育成すべき人材像と3ポリシーの決定 1-⑫令和7年3月 学部学科名称等の決定 1-⑬令和7年3月 カリキュラム詳細設計・確定 1-⑭令和7年3月 入学選抜方法詳細設計・決定 1-⑮令和7年3月 文科省事前相談用資料の作成 令和5年度～7年度のフェーズ1 期間に以下の学生確保の取組を実施 →令和5年10月～現在 STEAM教育や文理融合がキーワードの研究・導入 →令和5年9月～現在 HITリクシLABOの活性化；JST採算事業として活動を顕在化させ、中高生への啓発活動を主に活性化 →令和6年4月～現在 留学生獲得の検討；特定技能実習取得のシナジーモデルを構築 →令和6年9月～現在 遠征教育課程の導入検討；遠征教育課程について他大学の調査及び本学での必要性について検討 →令和7年3月 履修証明プログラムの拡充；HIT機械工学基礎プログラムを新たに設置 【改組内容】 令和7年 改組後の学部数の変更に伴う変更案を令和7年8月に提出予定	R5年度自己評価	【3】計画を十分に実施している。
			R6年度自己評価	【3】計画を十分に実施している。
フェーズ2 準備期			○年度自己評価	リストから選択してください。
認可申請又は編入	令和8年4月 総合情報部総合情報科 学部学科の設置届出予定 令和8年4月 先進工学部先進工学科 学部学科の設置届出予定 令和8年4月 デザイン工学部デザイン工学科 学部学科の設置届出予定	令和8年4月 総合情報部総合情報科 学部学科の設置届出予定 令和8年4月 先進工学部先進工学科 学部学科の設置届出予定 令和8年4月 デザイン工学部デザイン工学科 学部学科の設置届出予定	○年度自己評価	リストから選択してください。
フェーズ1 後期			○年度自己評価	リストから選択してください。
フェーズ2	2-①令和8年3月 教育内容；文部科学省手続き 2-②令和8年11月 学習環境；施設設備の充実 2-③令和8年12月 教育プログラムの確立；外部機関との連携等 2-④令和8年4月から継続 学生確保の取組；募集広報・学生募集活動、取組の継続		○年度自己評価	リストから選択してください。
開設又は定員増	令和9年4月 総合情報部総合情報科開設予定（入学定員100人） 令和9年4月 先進工学部先進工学科開設予定（入学定員100人） 令和9年4月 デザイン工学部デザイン工学科開設予定（入学定員100人）	令和9年4月 総合情報部総合情報科開設予定（入学定員100人） 令和9年4月 先進工学部先進工学科開設予定（入学定員100人） 令和9年4月 デザイン工学部デザイン工学科開設予定（入学定員100人）	○年度自己評価	リストから選択してください。
フェーズ2 後期			○年度自己評価	リストから選択してください。
フェーズ3	3-①各年度 カリキュラム計画に向けた教育の実施 3-②各年度8月、11月 授業評価アンケートとフィードバックによる科目レベルの点検・改善 3-③各年度8月、11月 ティアアップセッション（修習科目）に基づく達成度評価 3-④外部企業および卒業生の就職先企業へのアンケート調査等の実施によるプログラムレベル（カリキュラムポリシー、アドミシオンポリシー）の点検・改善 3-⑤各年度4月 学生の満足度調査および学生から意見を取り入れる仕組み等により学修内容・環境の点検・改善 3-⑥各年度8月、11月 ラーニングポートフォリオによる学生の学修活動の記録 3-⑦各年度8月、11月 学びのPDCAサイクルの展開 3-⑧各年度4月～ デジタル分野・グリーン分野・サステナブルに向けたキャリアデザインの実施 3-⑨各年度3月 インターンシップの計画；充実および就職等の進路開拓 3-⑩各年度2月 外部機関による事業評価 3-⑪令和9年～継続 遠征教育課程の導入の検討など		○年度自己評価	リストから選択してください。
フェーズ3			○年度自己評価	リストから選択してください。
定員減又は学部等の廃止			○年度自己評価	リストから選択してください。

フォローアップ対象年度	令和5年度	大学名	八戸工業大学
-------------	-------	-----	--------

2.申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

- i) 学生募集停止中の大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--
- ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--
- iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--
- iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--
- v) 大学、短期大学及び高等専門学校等の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

3.申請要件の取組状況

令和5年度の取組が当初の計画通りになっている、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

①	高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。	
	確認を受けている <input checked="" type="checkbox"/> チェック 確認の対象に該当しない <input type="checkbox"/> チェック	
②	十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
③	産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な資保証の枠組みを活用するなど出口における資保証にも十分留意することが重要。）	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
④	特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑤	計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑥	特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑦	社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑧	学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑧	入学定員が20名以上増加する計画であること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑨	事業計画の選定があった日から4年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）	
	計画通りに進んでいる、又は設置等を行った <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑩	大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑪	フェーズ3の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去5年間の中央値3年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	

フォローアップ対象年度	令和5年度	大学名	八戸工業大学
-------------	-------	-----	--------

④	計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組執行計画であること。	
	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
⑤	選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和5年4月13日文部科学大臣認可）六（2）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。	
	計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した。	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
⑥	文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	
	認定を受けておらず申請する意向もない	<input checked="" type="checkbox"/> チェック

4. 審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和5年度の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

[A: 連携を通じた教育体制の整備と実施]（連携開設科目等に限らない）

- チェック a. 企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
- チェック b. 関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
- チェック c. 関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施：2017年度より建築・土木工学分野においては、八戸市（株）まちづくり八戸と連携し、八戸市中心市街地の課題解決提案を検討する授業を実施している。毎年度末には八戸市長に学生がプレゼンしており、この授業での提案が基本構想になって実現した事業もある。また、デザイン分野においては、これまで多くの企業の依頼を受けて学生がデザイン授業を行う授業を実施してきた。これらの実績を元に、各分野において、企業や自治体と連携したPBL等の取組を充実させる。なお、八戸産学官連携推進会議においては、令和4年度から高等教育機関4校の学生が受講できる講義「八戸地域学」を共同開講している。これはPBL科目ではないが、連携を通じた教育の代表例である。関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施：たとえば、カーボンニュートラルの実現のためにはカーボンクレジット等の制度設計が重要であるなど、グリーン社会の実現のためには経済や経営等の知見が必要な場合も多い。八戸学院大学は、経営学や経済学に強みを持つ大学であり、連携した教育体制を協議したい。	申請時の計画の通り、企業や自治体と連携した科目をこれまでの実績を基に継続実施している。同じく、継続実施している他教育機関との連携による科目「八戸地域学」も継続開講しており、若者の地域定着を推進する自治体の注目の取組となっている。カーボンニュートラルの実現のための科目については、本学カーボンニュートラルロードマップに基づき、着実に展開している。	カーボンニュートラルはグローバルな課題であるが、未だ学内での講義展開にとどまっている。近隣の高等教育機関、協定を締結している海外の大学との連携を視野にさらに広範を試みる。

[B: 多様な入学者の確保に向けた取組]

- チェック a. 入学者選抜における科目の見直し
- チェック b. 女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
- チェック c. 地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
- チェック d. 社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
- チェック e. 留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
学科・分野再編や文理融合を行う中で、アミューズメント分野を見直す必要がある。これに伴って科目等についても見直す予定である。HITリケラボの活動の活性化を図る。また、情報デザイン学科を八戸市中心市街地に転移することで、デジタル分野において女子学生を増やす。既に、出張講義・大学見学・総合的な学習の時間等の支援など、初等中等教育との連携活動も多岐にわたっている。特に、総合的学習に対する大学リソースの提供方法や支援・連携強化について検討を進めている。令和5年度は3プログラムの履修証明プログラムを再募集3箇所を実施予定であり、今後さらに充実させていく予定である。また、社会人学生の受け入れに向けた学事課の柔軟化やリモート授業の検討などもフェーズ1では実施予定である。令和5年度より、留学生の受入れ強化に向けて検討を開始した。生活面での支援などについては、市内他の高等教育機関や行政機関の協力等も必要なので、八戸産学官連携推進会議においても検討を進める。	フェーズ1の初期段階である令和5年度において、既存の取組については継続実施しており、更に深化するよう展開を試みる。改組検討のための将来計画委員会の下部にカリキュラム検討部会を発足し、カリキュラム及びポリシーの見直しの検討を開始した。HITリケラボの活動の活性化に学生募集において女子枠を設け、募集要項を改定した。八戸市中心街への一部キャンパス移転については、他地域への移転も視野に継続検討を行う。大学のリソースを活用した初等中等教育機関を含めた総合的学習に対しての学習機会の提供はニーズを把握したうえで本学の特色ある取組となるよう定着化を図る。新たに一つのプログラムを加えた履修証明プログラムは、複数年で単位取得可能なプログラムとなっており、リカレントの受入れ増に繋がっている。学事課を柔軟化し、先ず大学院博士後期課程の受入れを学期開始からとなるよう学期を改正した。留学生の受け入れ強化の喫緊として、特定技能実習取得のビジネスモデルを構築し、行政機関の協力等により制度を開始した。	

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	八戸工業大学
-------------	-------	-----	--------

2.申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

- i) 学生募集停止中の大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--
- ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--
- iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額措置を受けた大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--
- iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--
- v) 大学、短期大学及び高等専門学校等の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

3.申請要件の取組状況

令和6年度の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

①	高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。	
	確認を受けている <input checked="" type="checkbox"/> チェック 確認の対象に該当しない <input type="checkbox"/> チェック	
②	十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
③	産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な資保証の枠組みを活用するなど出口における資保証にも十分留意することが重要。）	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
④	特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑤	計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑥	特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑦	社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑧	学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑧	入学定員が20名以上増加する計画であること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑨	事業計画の選定があった日から4年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）	
	計画通りに進んでいる、又は設置等を行った <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑩	大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑪	フェーズ3の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去5年間の中央値3年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	八戸工業大学
-------------	-------	-----	--------

④	計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。	■ チェック
	計画通りに進んでいる	
⑤	選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和5年4月13日文部科学大臣認可）六（2）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。	■ チェック
	計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した	
⑥	文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	■ チェック
	認定を受けておらず申請する意向もない	

4. 調査事項における確認項目の計画及び取組状況

令和6年度 の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

[A: 連携を通じた教育体制の整備と実施]（連携開設科目等に限定しない）

- チェック a. 企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
- チェック b. 関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
- チェック c. 関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施：2017年度より建築・土木工学分野においては、八戸市（株）まちづくり八戸と連携して、八戸市中心市街地の課題解決提案を検討する授業を実施している。毎年度末は八戸市長に学生がプレゼンしており、この授業での提案が基本構想となって実現した事業もある。また、デザイン分野においては、これまで多くの企業の依頼を受けて学生がデザイン授業を行う授業を実施してきた。これらの実績を元に、各分野において、企業や自治体と連携したPBL等の取組を充実させる。なお、八戸産学官連携推進会議においては、令和4年度から高等教育機関4校の学生が受講できる講義「八戸地域学」を共同開講している。これはPBL科目ではないが、連携を通じた教育の代表例である。関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施：たとえば、カーボンニュートラルの実現のためにはカーボンクレジット等の制度設計が重要であるなど、グリーン社会実現のためには経済や経営等の知見が必要な場合も多い。八戸学院大学は、経営学や経済学に強みを持つ大学であり、連携した教育体制を協議したい。	令和6年度では既存キャンパスである妙ヶ丘キャンパスの改修構想案の大枠を決定したため、来年度のフェーズ2での実現に向け詳細について内容を詰めていく予定。八戸市中心街へのキャンパスの一部移転については引き続き検討を続けていく。関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施：産学官の連携で行っているカーボンニュートラル会議を今年度も開催し、大学におけるカーボンニュートラル教育の重要性を確認するとともに、地域企業並びに教育機関との連携を図るための交流を行った。	

[B: 多様な入学者の確保に向けた取組]

- チェック a. 入学者選抜における科目の見直し
- チェック b. 女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
- チェック c. 地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
- チェック d. 社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
- チェック e. 留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
学科・分野再編や文理融合を行う中で、アドミッションポリシーを見直す必要がある。これに伴って科目等についても見直す予定である。HITリケラボの活動の活性化を図る。また、情報デザイン学科を八戸市中心市街地に移転することで、デザイン分野において女子学生増を目指す。既に、出張講義・大学見学・総合的な学習の時間の実施など、初等中等教育との連携活動も多行っている。現在、特に、総合的学習に対する大学カリキュラムの提供方法や支援・連携強化について検討を進めている。令和5年度は3プログラムの履修証明プログラムを青森県内3箇所で開催予定であり、今後さらに充実させていく予定である。また、社会人学生の受け入れに向けた学事課の柔軟化やリモート授業の検討などもフェーズ1では実施予定である。令和5年度より、留学生の受入れ強化に向けた検討を開始した。生活面での支援などについては、市内他の高等教育機関や行政機関の協力等も必要なので、八戸産学官連携推進会議においても検討を進める。	フェーズ1の2年目当たり、アドミッションポリシー並びにカリキュラムポリシーの検討を行った。女子学生の確保に向け昨年度改定した学生募集における女子枠について周知を進めていく。留学生の受入れ強化として昨年度から実施している特定技能エンジョブプログラムのビジネスモデルを今年も継続し、制度確立並びに改組後の学生確保につながるよう引き続き体制を整える。	

大学名	八戸工業大学
-----	--------

3.大学（学士課程）の状況

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	
大区分	小区分	項目	単位																				
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	300	300	300																	
		入学者数	人	190	185	215																	
	その他の学期	入学定員	人	***	***	***																	
		入学者数	人	***	***	***																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	300	300	300																	
		入学者数(B)	人	190	185	215																	
		入学定員充足率 (B/A)	倍	0.63	0.62	0.72																	
	収容定員等	収容定員(C)	人	1200	1200	1200																	
		編入学定員	人	0	0	0																	
		在籍者数(D)	人	1042	912	874																	
		編入学者数	人	2	1	2																	
		収容定員充足率 (D/C)	倍	0.87	0.76	0.73																	

4.外部資金の状況（全学）

年度		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度
改相状況		選定-5年	選定-4年	選定-3年	選定-2年	選定-1年	選定							完成年度						
項目	単位																			
外部資金獲得額	千円	35,316	47,507	40,592	47,154	58,881	87,180	50,007												

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均 (過去5年間における各年度の外部資金獲得額のうち最大額及び最小額を除いた残り3年分の平均) (E)	千円	45,084
本事業による助成金の額(F)	千円	793,998
フェーズ3の助成期間終了時まで達成する額(E+F×2.5%)	千円	64,934

特記事項

「2.理・工・農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況」並びに「3.大学（学士課程）の状況」の編入学定員0人とは、若干名を意味している。